

鎌井松石・丹波修治

2020年11月25日(水)～12月27日(日)



●本草学(ほんそうがく)とは？

植物、動物、昆虫、魚介、鉱物などから薬となるものを見つける学問。最初は、植物から薬を探していたのでこの名称がつけました。

日本では、江戸時代の後半から最も盛んにおこなわれます。その頃より、各地の珍しいものや物産の調査が加わりました。また、薬を見つけるために各地の特性を理解が必要であると考え、歴史、地理、民俗的な研究も行うようになりました。



●鎌井松石(かまいしょうせき)ってどんな人？

鎌井松石（1816～1892）は、河曲郡十日市場百々川（現在の鈴鹿市）に生まれ、30歳の頃より三重郡小山田村西山で医者をしていました。本草学に関心を持ち、春夏は植物の収集、秋冬には旧跡の調査のためあちこちを歩き回ったそうです。明治5年4月には三重県からオーストリア万国博覧会に出品する県内産物の取り集めを、同年11月には文部省から三重県管内地誌取調べの巡回を申し付けられるなど、県や国の仕事を任されることもありました。そのような調査の傍ら、「三重本草稿」「伊勢風土記」「三重管内博物誌」「本草正譌」「千種発蒙」といった著作を書き上げました。その中には、絵師としても著名である松石自身が描いた鮮やかな挿絵も描かれています。

●丹波修治(にわしゅうじ)ってどんな人？



尾張出身の丹波修治（1828～1908）は19歳の時、伊藤圭介（名古屋の本草学者。博物学に興味を持ち、シーボルトなどに学ぶ。明治初期の博物学における本草学の第一人者）の門下に入り、本草学と蘭学を学びました。その後、21歳の時に大矢知村の医師丹波衛門の養子となり四日市へやってきます。医業を継ぎましたが、33歳で代官所に勤め、以降行政に携わりました。明治5年に政府が博覧会事務局を設けて以来、県や国から三重県管内地理取調べや、御用掛、審査官などの仕事を任せられ、標本の収集、図譜の作成などを行いました。

「本草真影」「伊勢採薬目録」など地方の本草家として例を見ないほど数多くの編著を行った人物としても知られています。

●本草学者の集い「交友社(こうゆうしゃ)」

鎌井松石や丹波修治が北勢地域の自然科学に興味のある人達と明治15年に発起した集まりで、勸業、衛生、教育などについて協議しました。毎年、春秋2回の博物会を開き、会員が収集したものを一堂に陳列して相互に研究を行いました。会員には、萬古焼の陶芸師 森有節もいました。明治22年には、本草学者の伊藤圭介、田中芳男などが属した尾張の「嘗百社(しょうひゃくしゃ)」と統合し「嘗百交友社」となりました。交友社は明治35年まで31回の会合を重ねました。



※裏面に本のリストがあります。

●江戸時代の本草学について

	タイトル	請求記号	著者／出版社	出版年	貸出
1	世界大百科事典 26 p514,516,517	R031	平凡社	1988	×
2	江戸の植物学	499.9	大場秀章／東京大学出版会	1997	○
	図鑑の博物誌 増補版 p 299-317	B 460.3	荒俣宏／集英社	1994	○

●鎌井松石について

	タイトル	請求記号	著者／出版社	出版年	貸出
1	文化展望・四日市ラ・ソージュ 第15号	L051	四日市市文化振興財団	1998	○
2	文化展望・四日市ラ・ソージュ 第16号	L050	四日市市文化振興財団	1999	○
3	小山田郷土史	L223	米川市郎	1971	×
4	西山事記	L223	西山町郷土誌研究会／西山町	1996	○
5	影印三重県博物図稿 三重県史別編自然別冊	L460	鎌井松石／三重県	1996	×
6	四日市市文化振興財団研究紀要 「文化研究」第2号	L486	四日市市文化振興財団	1997	×
7	県史Q&A	L200	三重県	1999	×
8	四日市市立博物館研究紀要 第14号	L069	四日市市立博物館	2007	×
9	鎌井松石と本草学の世界	L499	四日市市立博物館	2015	○

●丹波修治について

	タイトル	請求記号	著者／出版社	出版年	貸出
1	新視点 三重県の歴史 正	L201	毎日新聞社津支局／山川出版社	2013	○
2	四日市市史 18巻 111 p	L223	四日市市	2000	○
3	広報よっかいち 昭和63年度 3月上旬号	L31	四日市市地域振興課／四日市市	1988	○
4	丹波修治旧蔵「和蘭文典」の訳語	L402	松村明／蘭学資料研究会関西支部	1962	×
5	本草学者丹波修治の研究	L499	松島博／三重県立大学	1971	×
6	泗水 7	L70	四日市市立図書館	1989	○

●三重の本草学・本草学者について

	タイトル	請求記号	著者／出版社	出版年	貸出
1	文化展望・四日市ラ・ソージュ 第20号	L051	四日市市文化振興財団	2003	○
2	三重県史 別編 自然	L201	三重県	1996	○
3	四日市市史 17巻 904 p	L223	四日市市	1999	○
4	近代四日市の幕開け	L282	四日市市立博物館	1997	○
5	四日市の礎 111人のドラマとその横顔	L282	志水雅明／四日市市文化協会	2009	○
6	三重県三重郡誌	L290	千秋社（復刻）	2002	○
7	三重県植物誌 下巻	L47	伊藤武夫／三重県植物誌発行所	1932	×
8	三重県薬業史	L49	伊藤長次郎／ミエ薬報社	1940	×
9	近世伊勢における本草学者の研究	L49	松島博／講談社	1974	○